SOLIDEX Light-curing C+B Composite

HARDURA

SOLIDEX Light-curing C+B Composite

HARDURA

はじめに

このたびはソリデックス ハーデュラ セットをお買上げいただきありがとうございます。本材を正しくお使いいただくために、ご使用前に本説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

目　次

1．安全上の警告、注意

1－1．使用上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
1－2．重要な基本的注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
1－3．使用方法に関する注意・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1－4．その他の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1－5．貯蔵・保管方法及び使用期間等 ・・・・・・・・・ 4

2．製品の概要

2－1．使用用途 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
2－2．製品構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
2－3．色調構成〈種類と色調〉・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
2－4．色調構成〈シェード〉・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

3．一般的な使用方法とその注意事項

3－1．築盛例　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
3－2．使用方法の概略 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
3－3．使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
3－4．オペークデンティンの使い方・・・・・・・・・・・・16
3－5．モデリングリキッドの使い方・・・・・・・・・・・・16

4．口腔内リペアー法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

5．データファイル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

6．包装 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

1. 安全上の警告、注意

【禁忌・禁止】

（1）本材又はメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
（2）本材又はメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。

1－1. 使用上の注意

●メタルリンクは可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。
●本材のモデリングリキッド、メタルリンクを使用する際には、適切な換気(1時間当り数回の換気)がなされている場所で使用すること。
●本材を使用した硬化物の研磨作業等の際には粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。
●本材は、2－1に記載の用途以外には使用しないこと。
●本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

1－2. 重要な基本的注意

●本材の使用により発疹、温疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
●本材の使用により発疹、温疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
●メタルリンクはアセトンを含んでいるため、換気の良い場所で使用すること。万一アセトンの蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の場所で暖かくして休憩すること。
●目に入らないように注意すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。
●本材の未重合物は直接素手で触れないこと。また、皮膚に付着させないように注意すること。
●本材との接触による過敏症を防ぐため、医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡の着用などの防護措置を執ること。
●口腔軟組織や皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿等で拭った後、大量の流水で洗浄すること。

1－3．使用方法に関連する注意

●メタルリンクは揮発成分を含んでいるため、採取後すぐに容器を密栓し採取物は速やかに使いきること。
●本材は、使用後速やかにキャップを確実に閉めること。
●金属被接着面の処理（前処理）後は唾液等の水分の接触に充分注意すること。
●本材に使用する筆は、構成品ごとに使い分けること。又、塗布後は筆を速やかにセラマージュ クリーナー、アルコール、又は義歯床用アクリル系レジンの液などで洗浄すること。
●ディスポディッシュ、又はペーパーパッド上に取り出した本材は遮光カバーで遮光すること。
●窓際又は技工用ライト直下等、明るい場所で築盛するとペーストが硬化することがあるので、強い光の当たらない場所で使用すること。
●ベースはポンティック部専用で設計しているため、前装部分には使用しないこと。
●照射光は直視を避け、保護眼鏡などを使用すること。
●本材と併用して使用する歯科材料、機械及び器具は、各々の添付文書等に記載の使用方法及び使用上の注意事項を遵守すること。
●本材は光照射器の照射能力に依存するため、ランプの劣化や埃等による汚れ、寿命等に注意すること。
●気泡の混入、及び材料特性の低下を防ぐため、歯冠用コンポジットレジン同士、あるいは歯冠用コンポジットレジンと他の材料を混ぜて使用しないこと。
●本材を冷蔵庫で保管している場合には、使用する前に室温に戻してから使用すること。

1－4．その他の注意

●本材と同種の製品「ソリデックス」の未重合物を素手で扱ったことにより、含まれる成分に感作症状を発現した事例がある。
●完成して、患者に装着した歯冠修復物は、食習慣等にかかわって口腔内で表面着色したり、プラーク付着することがあるため、患者に対し口腔内の日常清掃を指導すること。

1－5．貯蔵・保管方法及び使用期間等

【貯蔵・保管方法】

●本材は、高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、1～25℃、暗所に保管すること。
●本材は、同一の保管庫には多量に保管しないこと。
●本材の使用場所及び保管場所には消火装置を備えること。
●本材は、歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【使用期限】

本材は包装、容器に記載の使用期限※までに使用すること。
［記載の使用期限は、当社データによる］
※（例）YYYY-XXは→使用期限YYYY年XX月末日を示す）

2．製品の概要

2－1．使用用途

●前装鋳造冠、ジャケット冠、ラミネートベニア等の歯冠修復物に用いる。

●歯冠修復物及び欠損補綴装置の口腔内外での人工歯冠の補修に用いる。

2－2．製品構成

▶プレオペーク

前装冠製作時に一層目のオペーク材として用い、下地の色調を整えます。ペーストの流動性が高く、維持装置の細部まで確実に進入させることができ、また硬化深度が深いため、深部の確実な光重合により強固な維持力を発揮します。

▶オペーク

前装冠の金属色やジャケット冠の支台歯の色調を遮蔽するためのオペーク材です。従来品と比較して、オペーク層の接着性が向上し、かつ、ペーストの塗布性が向上しています。

▶歯冠用コンポジットレジン

前装冠、ジャケット冠等による歯冠修復又は暫間被覆冠等の製作、もしくは口腔内外での人工歯冠の補修に用います。

▶モデリングリキッド

歯冠用コンポジットレジン築盛時に用いる光重合型追加築盛液です。予備重合の終わった歯冠用コンポジットレジンの表面に塗布し追加築盛する場合や、研削材で形態修整した後に塗布し再築盛する場合に用います。

▶メタルリンク

歯冠用金属とレジン材料との接着性を増強させるための金属接着性プライマーです。
貴金属合金、非貴金属合金および純金属の表面に塗布することにより、接着性が向上します。

【関連製品】

▶セラマージュ　セップ

石こうと硬質レジン材料の分離材です。ジャケットクラウンの製作時に、マージン部の分離材として使用します。

▶セラマージュ　スペーサー

セメントスペースを確保するためのスペーサーで、ジャケットクラウンの製作時に使用します。

▶セラマージュ　クリーナー

筆の洗浄に使用する洗浄液です。

2－3. 色調構成〈種類と色調〉

種類・分類		色　調
プレオペーク　（2mL）		
オペーク　（全23色、2mL）		A1O, A2O, A3O, A3.5O, A4O, B1O, B2O, B3O, B4O, C1O, C2O, C3O, C4O, D2O, D3O, D4O, R2O, R3O, R3.5O, VpO, VrO, PO, InO
歯冠用コンポジットレジン（全51色、3mL）	サービカル（10色）	AC1, AC2, BC1, BC2, CC1, CC2, DC1, DC2, RC1, RC2
	オペークデンティン（10色）	ODA1, ODA2, ODA3, ODA3.5, ODA4, ODB2, ODB3, ODC2, ODC3, ODD3
	ボディー（19色）	A1B, A2B, A3B, A3.5B, A4B, B1B, B2B, B3B, B4B, C1B, C2B, C3B, C4B, D2B, D3B, D4B, R2B, R3B, R3.5B
	インサイザル（3色）	58, 59, 60
	トランスルーセント（3色）	T（ﾄﾗﾝｽﾙｰｾﾝﾄ）, HVT（ﾊｲﾊﾞﾘｭｰﾄﾗﾝｽﾙｰｾﾝﾄ）, LVT（ﾛｰﾊﾞﾘｭｰﾄﾗﾝｽﾙｰｾﾝﾄ）
	特殊色（5色）	57（ｲﾝｻｲｻﾞﾙ）, OC（ｵｸﾙｰｻﾞﾙ）, AM（ｱﾝﾊﾞｰ）, GUM（ｶﾞﾑ）, WE（ﾎﾜｲﾄｴﾅﾒﾙ）
	ベース（1色）	BASE（ベース）
モデリングリキッド　（6mL）		—
メタルリンク　（5mL）		—

オペーク特殊色の使用方法

●InO（インサイザルオペーク）
メタルで切端部を被覆した部分やブリッジの連結部分に透明感を再現する場合に、各色のオペークと混合して用います。

●VpO（バリュープラスオペーク）
オペークの明度を上げる場合に混合して用います。

●VrO（バリューリデューストオペーク）
オペークの明度を下げる場合に混合して用います。また、インサイザルオペーク（InO：グレー系、VrO：ディープグレー系）としても使用できます。

●PO（ピンクオペーク）
GUM（ガム）築盛時の金属色遮蔽に用います。

トランスルーセントの使用方法

●HVT（ハイバリュートランスルーセント）
明度の高い透明感のある症例に用います。

●T（トランスルーセント）
透明感のある症例に用います。

●LVT（ローバリュートランスルーセント）
明度の低い透明感のある症例に用います。

特殊色の使用方法

●57（インサイザル）
インサイザル色の58よりさらに明るさを表現する場合に使用します。
明るさの目安：57＞58＞59＞60

●OC（オクルーザル）
臼歯咬合面のような色調を表現する場合に使用します。

●WE（ホワイトエナメル）
白色を特に強調する場合に用います。
白さの目安：WE＞OC＞57

●AM（アンバー）
赤褐色のエナメル色を表現する場合に使用します。

●GUM（ガム）
歯肉色の色調表現する場合に使用します。

ベースの使用方法

●ポンティック部分に築盛し、隣接する前装部との厚みの調整に使用します。

2－4. 色調構成〈シェード〉

●クラシカルシェード

シェード	A1	A2	A3	A3.5	A4	B1	B2	B3	B4
オペーク	A1O	A2O	A3O	A3.5O	A4O	B1O	B2O	B3O	B4O
インサイザルオペーク	InO(VrO)								
サービカル	—	AC1		AC2		—	BC1		BC2
オペークデンティン	ODA1	ODA2	ODA3	ODA3.5	ODA4	—	ODB2	ODB3	—
ボディー	A1B	A2B	A3B	A3.5B	A4B	B1B	B2B	B3B	B4B
インサイザル	58		59		60	58		59	

シェード	C1	C2	C3	C4	D2	D3	D4
オペーク	C1O	C2O	C3O	C4O	D2O	D3O	D4O
インサイザルオペーク	InO(VrO)						
サービカル	—	CC1		CC2	DC1		DC2
オペークデンティン	—	ODC2	ODC3	—	—	ODD3	—
ボディー	C1B	C2B	C3B	C4B	D2B	D3B	D4B
インサイザル	58	59		60	59	60	59

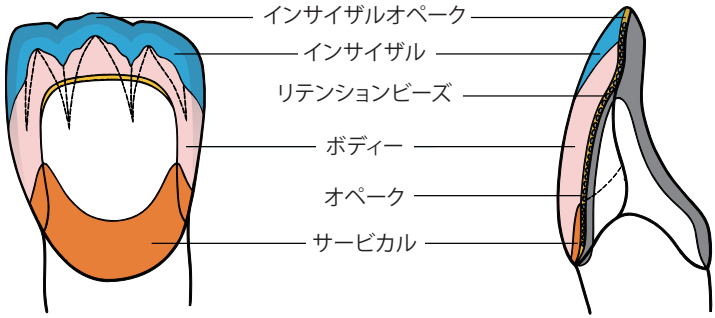
●NCCシェード

シェード	R2	R3	R3.5
オペーク	R2O	R3O	R3.5O
インサイザルオペーク	InO(VrO)		
サービカル	RC1		RC2
オペークデンティン	—	—	—
ボディー	R2B	R3B	R3.5B
インサイザル	58	59	

3．一般的な使用方法とその注意事項

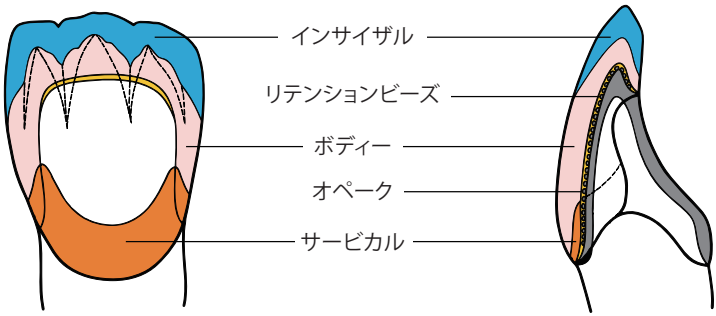
3－1．築盛例

●メタルで切端部まで被覆するケース



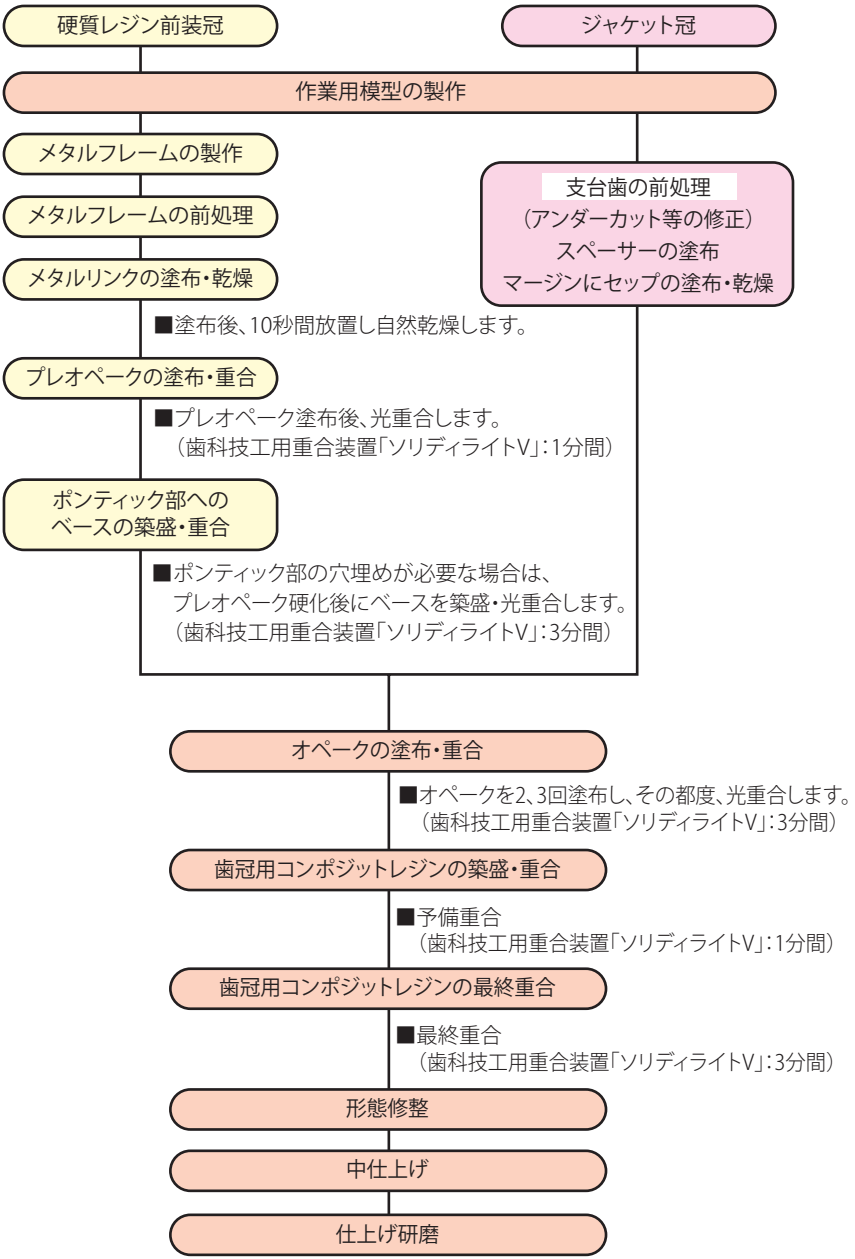
〈基本例〉

●メタルで切端部まで被覆しないケース



〈基本例〉

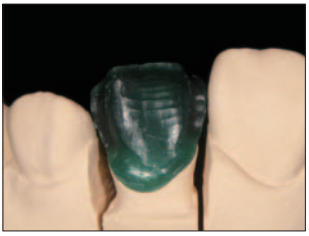
3－2. 使用方法の概略


硬質レジン前装冠
ジャケット冠
作業用模型の製作
メタルフレームの製作
メタルフレームの前処理
メタルリンクの塗布・乾燥
支台歯の前処理
（アンダーカット等の修正）
スペーサーの塗布
マージンにセップの塗布・乾燥
■塗布後、10秒間放置し自然乾燥します。
プレオペークの塗布・重合
■プレオペーク塗布後、光重合します。
（歯科技工用重合装置「ソリディライトV」：1分間）
ポンティック部への
ベースの築盛・重合
■ポンティック部の穴埋めが必要な場合は、
プレオペーク硬化後にベースを築盛・光重合します。
（歯科技工用重合装置「ソリディライトV」：3分間）
オペークの塗布・重合
■オペークを2、3回塗布し、その都度、光重合します。
（歯科技工用重合装置「ソリディライトV」：3分間）
歯冠用コンポジットレジンの築盛・重合
■予備重合
（歯科技工用重合装置「ソリディライトV」：1分間）
歯冠用コンポジットレジンの最終重合
■最終重合
（歯科技工用重合装置「ソリディライトV」：3分間）
形態修整
中仕上げ
仕上げ研磨

3－3.使用方法

以下に代表例として前装鋳造冠の製作方法を記載します。(重合時間は歯科技工用重合装置「ソリディライト V」の場合)

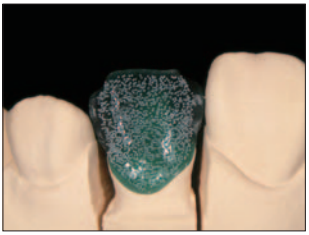
(1)メタルフレームの製作



①ワックスアップ

ワックスにて歯冠外形を回復し、前装部の削除を行います。削除量は、良好な色調再現、強度を確保するため、0.7mm以上必要です。

※咬合関係を考慮し、メタルフレームデザインを行ってください。

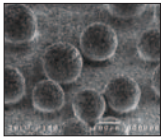


②維持装置の付与

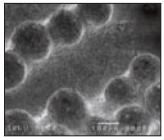
リテンションビーズを用い、維持(アンダーカット)を付与します。

※リテンションビーズの付与状態

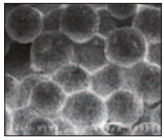
小さなビーズを使用したり、接着材を厚くしたりすると、アンダーカットの再現が困難になります。ビーズの大きさは、150～200μm程度のものを使用し、まばらに散布します。



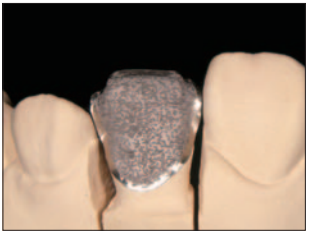
理想の状態



多量の接着材が毛細管現象によりアンダーカット部に侵入し、アンダーカット部が再現できていない状態



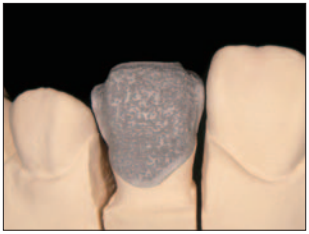
多量のビーズ散布によって俵積み状態になり、アンダーカットが再現できていない状態



③メタルフレームの調整

鋳造後、レジンとメタルの移行部および前装部の調整、仕上げ研磨を行い、メタルフレームを完成させます。

（2）メタルフレームの表面処理（サンドブラスト処理）

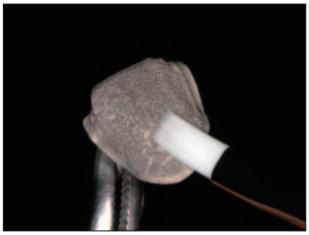


前装部をアルミナサンドでブラスト処理します。その後、スチームクリーナーまたは超音波洗浄器で水洗し、乾燥させます。

注意 サンドブラストは松風ハイアルミナをご使用ください。

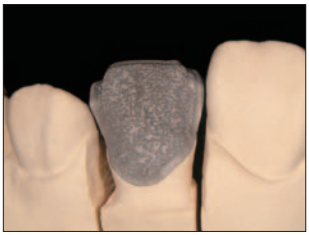
注意 金属面処理後の前装部には水分、油分などが付着しないように気をつけてください。

（3）メタルリンクの塗布・乾燥

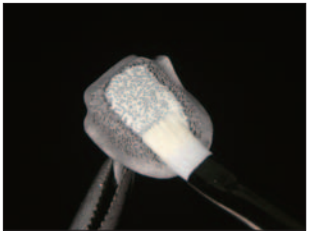


メタルリンクをディッシュ等に適量採取し、ユニブラシNo.4でメタルフレームの前装部に塗布した後、10秒間放置して自然乾燥します。

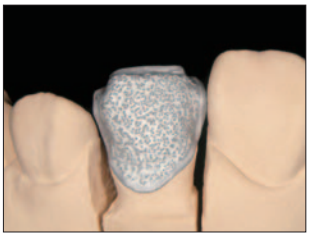
注意 メタルリンクは揮発しやすいので、採取後は、ただちにキャップを閉じてください。また、採取物は速やかに使い切るようにします。



（4）プレオペークの塗布・重合



プレオペークを紙練板又はディッシュ等に採取し、ユニブラシNo.4でリテンションビーズのアンダーカット部に完全に入り込むように塗布します。塗布後、1分間光重合します。

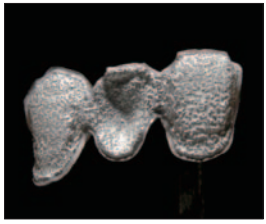


●ポンティック部の築盛

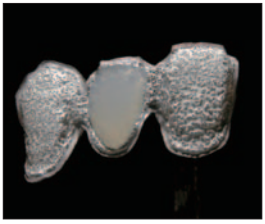
ブリッジのポンティック部分など、レジン築盛スペースの調整が必要な部分には、プレオペークを塗布して1分間重合させた後、ベースを築盛します。
隣接する前装部との厚みを調整し、3分間光重合します。ベース硬化後、次にオペークを塗布し、3分間光重合を行います。
（ベースの硬化深度は「ソリディライトV」3分間光重合で約6.5mmです。）

注意 ベースは他の歯冠用コンポジットレジンと特性が異なりますので、前装部の表層には使用できません。

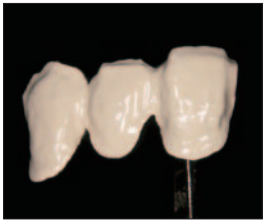
【プレオペークの塗布】



【ベースの築盛】



【オペークの塗布】



（5）オペークの塗布・重合

オペークを紙練板、又はディッシュ等に採取し、ユニブラシNo.4で塗布します。塗布後、光重合器にて3分間光重合を行い、金属色を遮蔽していきます。必要に応じて2～3回塗布し、その都度、光重合します。

○オペークの色調調整

切端部や隣接部、またはブリッジの連結部に透明感を表現する場合、InOまたはVrOを用います。
InO、VrOは各色のオペークと混合して使用します。

注意 塗布面積が広い場合や多数歯にわたる場合は、照射位置、照射方向を変えて数回光重合してください。

注意 ディスポディッシュまたはペーパーパッド上に取り出したプレオペーク、オペークは光重合性に優れているため、速やかに遮光カバーで遮光してご使用ください。

注意 プレオペーク、オペークに使用した筆はセラマージュクリーナー、アルコールまたは義歯床用アクリル系レジンの液などで洗浄してください。

（6）サービカルの築盛

サービカルをシリンジより取り出し、色調の移行を考慮して、歯頸部から切端に向かって薄くなるように築盛します。光重合は予備重合として1分間行います。

※これ以後、歯冠用コンポジットレジンの築盛ごとの予備重合は1分間です。

（7）ボディーの築盛

ボディーをシリンジより取り出し、歯冠形態を整えながら築盛します。切端部より1/4〜1/3あたりまでボディーにて歯冠外形を回復し、切縁は指状構造を付与しながら移行的に形態を整え、予備重合を1分間行います。
築盛層が薄くなっている部分などは、オペークデンティンを築盛します。（P.14 オペークデンティンの使い方をご参照ください。）

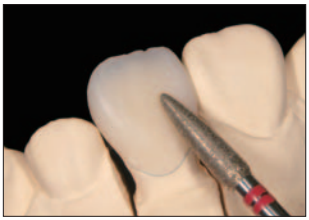
※光重合後に形態修整を行なった場合は、適用面のなじみ液としてモデリングリキッドを薄く塗布し、次の築盛を行います。（P.16 モデリングリキッドの使い方をご参照ください。）

（8）インサイザルの築盛・最終重合

インサイザルを適量採取し、気泡の混入に注意して、最終歯冠形態を考慮しながら切端部へ移行的に築盛した後、最終重合を3分間行います。
（基本シェードの再現は、ボディー、インサイザルの2色で行います。）

※透明感を強調したい部位には、トランスルーセントを適宜築盛し、最終重合を3分間行います。

（9）形態修整

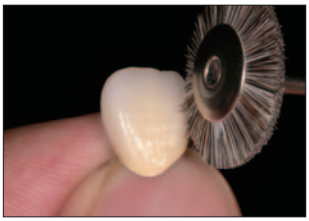


カーバイトバー、カーボランダムポイント、ダイヤモンドポイント、ホワイトポイント等を用いて形態修整を行います。

（10）中仕上げ

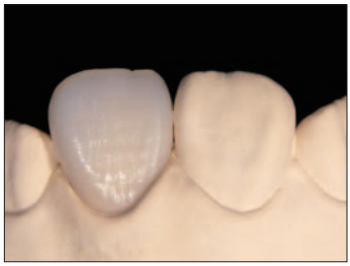
シリコンポイントHR2、M2、PB等で、表面性状を整えながら中仕上げを行います。

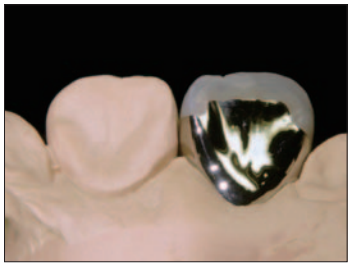
（11）仕上げ研磨



ピボットブラシ、フェルトホイール等を用いてデュラポリッシュ、デュラポリッシュ ダイヤ等にて仕上げ研磨を行います。

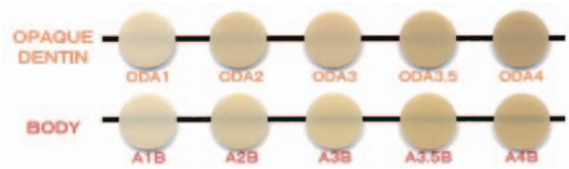
（12）完成





3－4．オペークデンティンの使い方

オペークデンティンはボディーと同色でやや不透明に設計された歯冠用コンポジットレジンです。舌側面や歯頸部付近、切端部のボディーの築盛スペースが少ない部分などに、オペーク色の反射を抑えるために使用します。



3－5．モデリングリキッドの使い方

モデリングリキッドは歯冠用コンポジットレジンの追加築盛時に使用します。予備重合の終わったコンポジットレジン表面、もしくは形態修整後のコンポジットレジン表面へのなじみ液として塗布することにより、追加築盛を容易にします。

（1）予備重合後に追加築盛を行う場合（必要に応じて行います。）
モデリングリキッドを追加築盛面に一層薄く塗布し、歯冠用コンポジットレジンのペーストを追加築盛した後、光重合を行います。

（2）形態修整後に追加築盛を行う場合（必ず行なってください。）
形態修整後に追加築盛を行う場合は、研削面にモデリングリキッドを必ず塗布してください。また、中仕上げ研磨、もしくは最終仕上げ研磨後の場合は、カーボランダムポイント、ダイヤモンドポイントなどで、表面を粗造にした後、（必要に応じてアルミナブラスト処理を行なってから）塗布します。その後、歯冠用コンポジットレジンを追加築盛し光重合します。

4．口腔内リペアー用

陶材、硬質レジン前装冠の口腔内リペアー（暫間修復）

修復部表面を一層削除・水洗・乾燥

修復部表面をダイヤモンドポイントで一層削除・粗造化し、
水洗・乾燥します。
（金属部が露出の場合も金属面を同様に行います。）

[金属部露出の場合]

金属部へのメタルリンクの塗布・乾燥

■塗布後、10秒間放置し、自然乾燥します。

金属部へのプレオペークの塗布・重合

■プレオペークを塗布後直ちに光重合します。
[歯科重合用光照射器
「ブルーショット（ハイモード）」：10秒間]

金属部へのオペークの塗布・重合

■オペークを数回に分けて塗布・重合を行い、
金属色を遮蔽します。
[歯科重合用光照射器
「ブルーショット（ハイモード）」：10秒間]

修復部にセラレジンボンドの処理

1）セラレジンボンドⅠを塗布後、10秒間放置し、自然乾燥します。
2）セラレジンボンドⅡを塗布後、10秒間放置し、歯科技工用重合装置
「ソリディライトⅤ」で3分間光照射します。
（歯科重合用光照射器「ブルーショット」：10秒間でも可）

歯冠用コンポジットレジンの築盛・重合

ボディーまたはインサイザルを築盛し、その都度重合します。
[歯科重合用光照射器「ブルーショット（ハイモード）」：10秒間]

形態修整

仕上げ研磨

5．データファイル

（1）重合時間

①歯科技工用重合装置

「ソリディライトV」「アクセルキュア」

工程	ソリディライト V	アクセルキュア
プレオペーク重合	1分	30秒
オペーク重合	3分	90秒
歯冠用コンポジットレジン予備重合	1分	30秒
ポンティック部重合	3分	120秒
最終重合	3分	120秒

②歯科重合用光照射器（口腔内でのリペアーの場合）

「ハロゲン照射器」、「ブルーショット」、「キュアノス」

機器名	標準光重合時間
ハロゲン照射器	20秒
ブルーショット（ハイモード）	10秒
キュアノス（標準モード）	10秒

※技工作業にて光重合する場合は、必ず歯科技工用重合装置を使用してください。

記載の重合装置（光照射装置）以外の機器を使用する場合は、
取扱説明書等を参考に本品に適した光量を確保して使用してください。

（2）硬化深度

種類（色調）			重合時間（ソリディライトV）	硬化深度（mm）
プレオペーク			1分	0.70
オペーク	A1O, A2O, B1O, B2O, R2O, VpO		3分	0.23
	A3O, A3.5O, A4O, B3O, B4O, C1O, C2O, C3O, C4O, D2O, D3O, D4O, R3O, R3.5O		3分	0.23
	InO, VrO, PO		3分	0.15
歯冠用コンポジットレジン	サービカル	AC1, AC2, BC1, BC2, CC1, CC2, DC1, DC2, RC1, RC2	1分－3分	0.7－1.2
	ボディー	A1B, A2B, A3B, B1B, B2B, C1B, C2B, D2B, R2B, R3B, R3.5B（WE）	1分－3分	1.6－2.7
	ボディー	A3.5B, A4B, B3B, B4B, C3B, C4B, D3B, D4B, (GUM)	1分－3分	1.1－2.1
	インサイザル	57, 58, 59, 60 (OC) (AM)	1分－3分	2.2－4.2
	トランスルーセント	HVT, T, LVT	1分－3分	3.2－5.7
	ベース	BASE	1分－3分	4.0－6.5
	オペークデンティン	ODA1, ODA2, ODA3, ODA3.5, ODA4, ODB2, ODB3, ODC2, ODC3, ODD3	1分－3分	1.0－1.6

（3）せん断接着強さ（サーマルサイクル5000回後）

	ソリデックス ハーデュラ	ソリデックス	試験方法
金銀パラジウム合金 (MPa)	27	12	JIS T6517、ISO10477による
ニッケルクロム合金 (MPa)	22	11	JIS T6517、ISO10477による

（メタルリンク使用時）

（4）物性表

	ソリデックス ハーデュラ 歯冠用コンポジットレジン	ソリデックス歯冠用コンポジットレジン	試験方法
ビッカース硬度（Hv0.2）	55	43	JIS T6517、ISO10477による
曲げ強さ（MPa）	83	75	JIS T6517、ISO10477による
曲げ弾性率（GPa）	7.1	5.7	JIS T6517、ISO10477による
圧縮強さ（MPa）	394	314	自社試験方法による
間接引張強さ(MPa)	48	48	自社試験方法による
重合収縮（vol%）	2.5	2.5	自社試験方法による
歯ブラシ摩耗量（vol%）	0.27	0.39	自社試験方法による

6．包装

①ソリデックス ハーデュラ セット スタンダード（8色セット：A1、A2、A3、A3.5、A4、B2、B3、C3）

プレオペーク	プレオペーク
オペーク	A1O、A2O、A3O、A3.5O、A4O、B2O、B3O、C3O、InO
サービカル	AC1、AC2、BC1、CC1
ボディー	A1B、A2B、A3B、A3.5B、A4B、B2B、B3B、C3B
インサイザル	58、59、60
トランスルーセント	HVT、T、LVT
モデリングリキッド	ソリデックス　ハーデュラ　モデリングリキッド
金属プライマー	メタルリンク
各種付属品	ユニブラシNo4、ディスポディッシュ、ペーパーパッド、遮光カバー

②ソリデックス ハーデュラ セット　スターター（3色セット：A2、A3、A3.5）

プレオペーク	プレオペーク
オペーク	A2O、A3O、A3.5O、InO
サービカル	AC1、AC2
ボディー	A2B、A3B、A3.5B
インサイザル	58、59
金属プライマー	メタルリンク
各種付属品	ユニブラシNo4、ディスポディッシュ、ペーパーパッド、遮光カバー

③ソリデックス ハーデュラ セット　イントロ（1色セット（2種）：A2セット、A3セット）

	A2セット	A3セット
プレオペーク	プレオペーク	
オペーク	A2O、InO	A3O、InO
サービカル	AC1	
ボディー	A2B	A3B
インサイザル	58	59
金属プライマー	メタルリンク	
各種付属品	ユニブラシNo4、ディスポディッシュ、ペーパーパッド、遮光カバー	

④単品包装

プレオペーク　2mL

オペーク　各2mL

(A1O, A2O, A3O, A3.5O, A4O, B1O, B2O, B3O, B4O, C1O, C2O, C3O, C4O, D2O, D3O, D4O, R2O, R3O, R3.5O, VpO, VrO, PO, InO)

歯冠用コンポジットレジン　各3mL

サービカル

（AC1, AC2, BC1, BC2, CC1, CC2, DC1, DC2, RC1, RC2）

オペークデンティン

（ODA1, ODA2, ODA3, ODA3.5, ODA4, ODB2, ODB3, ODC2, ODC3, ODD3）

ボディー

（A1B, A2B, A3B, A3.5B, A4B, B1B, B2B, B3B, B4B, C1B, C2B, C3B, C4B, D2B, D3B, D4B, R2B, R3B, R3.5B）

インサイザル

（58, 59, 60）

トランスルーセント

（T（トランスルーセント）, HVT（ハイバリュートランスルーセント）, LVT（ローバリュートランスルーセント））

特殊色

（57（インサイザル）, OC（オクルーザル）, AM（アンバー）, GUM（ガム）, WE（ホワイトエナメル））

ベース

（BASE）

モデリングリキッド　6mL

メタルリンク　5mL

〔関連商品〕

（1）セラマージュ　セップ　7mL

（2）セラマージュ　スペーサー　7mL

（3）セラマージュ　クリーナー　100mL